

ガバナー公式訪問

第 2580 地区ガバナー 栃木 一夫様



「平和とは希望が根付くための土壌です」

全ては希望から始まると信じています。希望がなければ人は前には進めません。

ロータリーは、平和、機会、生きる価値ある未来の土台を築いています。私たちが得意とすることを継続すると同時に、変化に対してオープンで前向きになり、世界と自分自身の中に平和を築くことに力を注げば、ロータリーは、より平和で、より希望のある世界を築く手助けができます。

私は昭和 63 年 6 月に東京北 RC に入会しました。今年で 35 年目を皆出席で迎えております。ロータリアンとしては平成生まれ平成育ち、そして令和という時代になってのガバナーとなります。



多くのヒット曲を手掛けた阿久悠さんが、「昭和はあみだくじ、平成は巨大迷路」と表現しておりました。ロータリーの平成時代、まさに巨大迷路ではないのですが、大きく変身して令和はその答えを見つける時代のような気がします。

日本の RI 理事、岡山南 RC の佐藤芳郎さんの就任当初のご挨拶は「ロータリーは変わろうとしている。どう変わるのではなく、変わらないとどうなるのかを考える」変化を受け入れるかどうかはクラブが選ぶことですが、ロータリーが生き残るため、持続可能にするためにどう変化したほうがよいのかをよく考えてほしいというご挨拶をよくされていました。

RI 財団はチャリティ・ナビゲーターで 14 年連続最高の四つ星評価を受けております。そして国際ショナル NGO、トップ 10 を目指し、IOC とか、赤十字国際委員会と並ぶような奉仕団体を目指しています。こうした目的の理由は 2 つあると思います。

1. ロータリーの地位向上、公共イメージ向上
ポリオ根絶は公共イメージアップ、ブランド力アップのためには、やはり成し遂げなければいけない最重要課題ということになります。
2. 会員減少対策
平成の会則変更の多くは、会員増強のため、クラブ拡大やクラブ運営の自由度を増やしているというように思えます。

ロータリーの未来形成 (Shaping Rotary's Future)

ロータリーのガバナンスに関してヒエラルキー構造をフラットな組織にしようと「地域化」にして会員増強やクラブ活性化を検証してみようということのようです。具体的な情報も少ないんですがロータリーは地域化ということを考えていることだけお知らせしておきます。

私が入会した当初は、出席や会員資格が厳格で、そのことが RC やロータリーの品格を作り守ってきたように思います。一方で出席規定や職業分類は増強の足かせみたいなのもありました。

平成のさまざまな会則の変更は会員資格の要件緩和、例会の回数や、バーチャルを組み合わせる開催方法の一元化、分野特化型 RC、アメリカ、カリフォルニア州ではメンタルヘルス&ウェルネス RC というのができていて、メンタルヘルスとウェルネスに関してだけ奉仕活動する特化型 RC が作られるようになりました。新しい形の分野型 RC、運営しやすいクラブを創出しやすい環境を作ろうとしていることが言えるのかと思います。



令和は新型コロナウイルスによるパンデミックで始まり、ロシアのウクライナ侵攻、地球温暖化による自然災害、不安定な国際関係等、世界が分断されるとささやかれるそんな時代だからこそ、ロータリーは平和を築く土壌づくりに貢献しなければなりません。

そのためにはまずは「自分のクラブはどうしたら元気なクラブになるのか?」「持続可能になるのか?」と問うことです。人と人とのつながりと目的意識を持つことは、ロータリアンの心に火をつけることでしょう。夢と希望を描き(クラブビジョン)、実現に向けた具体策(行動計画)についての会員間の対話は忘れてはなりません。

【ロータリアンの心】の再確認につながると思います。

RI 理事会では本年度から「学ぶ」という言葉を使うようになりました。「トレーニング」という言葉を「ラーニング」に変更する、用語変更が行われました。したがって、7 月から「地区研修委員会」は「地区ラーニング委員会」、「編集リーダー」は「ラーニングファシリテーター」と呼び名が変わっておりますので対応をお願いします。8 月のロータリーの友にも記述ありますのでご確認ください。

今年は新型ウィルスの影響もありまして、4 年ぶりに神田まつりが開催されました。神田まつりは伝統を守りながら新しい祭礼文化の創造に挑戦するために「変わらない為に変わり続ける」、多くの危機を乗り越えてきた長い神社の歴史の中にこそ、持続可能な社会の構築するために多くのヒントが込められているのではないかと考えます。祭りというのは人と人をつなぎますし、地域を活性化させるわけですが、残念ながら神田の人口後退、毎年大きく変わってきております。変わらないために変わ

り続けたい、この言葉に神社の本当に大きな危機感があるように感じます。ロータリーが変わらないために、令和のロータリーを考えていなければならない、と私は思います。

お茶の水 RC の皆さんにおかれましては今年が 30 周年を迎えられるとのことで大変おめでとうございます。10/11 の記念例会にお招きいただきありがとうございます。楽しみにしております。

また 5 名の方に地区運営お手伝いいただきまして感謝申し上げます。

牛島会長、藤本幹事の元に、是非ロータリアンの心に火をつけてください。東京お茶の水 RC のクラブビジョン「千代田から世界に広げよう、奉仕の輪」の実現に向けて、より元気なクラブにされますことをお願いいたします。